

<株式会社エフエム東京 第 452 回放送番組審議会>

1. 開催年月日：平成 30 年 10 月 2 日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（3 名）

横 森 美 奈 子 委員長 内 館 牧 子 委員
ロバート キャンベル 委員

◇欠席委員（3 名）

渡 辺 貞 夫 委員 川 上 未 映 子 委員
秋 元 康 委員

◇社側出席者（9 名）

富木田 代表取締役会長
千 代 代表取締役社長
平 専務取締役
吉 田 常務取締役
西 川 常勤監査役
森 田 執行役員編成制作局長
兼 株式会社グランド・ロック代表取締役社長
延 江 営業局エグゼクティブ・プランナー
宮 野 編成制作局編成部長
若 杉 編成制作局制作部長 兼 プロデューサー

◇社側欠席者（1 名）

村 上 常務取締役営業局長

【事務担当 森田放送番組審議会事務局長】

4. 議題：番組試聴（約 19 分）
『木村拓哉 Flow supported by GYAO!』
2018 年 9 月 23 日（日） 11:30～11:55 全国 38 局ネット

《議事内容》

議題 1:最近の活動について

■2018年10月秋の改編について

TOKYO FM では、10月改編に際し、「感動を提供し、共感を得る」というステーション理念のもと、編成方針である「共感コミュニティ」の強化と、今回取りこぼしたターゲット聴取率奪取に向けて対策を講じてまいります。

先般、お伝えした通り8月度聴取率調査では、コアターゲット M1F1 層において、前回6月度首位だったスコアが下降し、在京第2位となりました。その主たる要因が主要な平日ワイドの下降傾向にあり、この10月改編では、その中でも恒常的に低迷する時間帯（19時～21時）の改善対策を実施します。

現在、年間を通して、同時帯首位を獲得している「スカイロケットカンパニー」（現状17時～19時）を10月より延長拡大編成することで、19時以降、急降下する現状に歯止めをかけ、ターゲットリスナー層の継続聴取を狙い、平日ワイドの底上げを図ります。

以下、主な番組リニューアル、新番組をご紹介します。

◆人気夕方ワイド『Skyrocket Company』が1時間拡大し3時間生放送に

（月-木曜 17:00-19:52）



「明日への狼煙（のろし）を上げる、ラジオの中の会社」をコンセプトに放送している TOKYO FM 夕方の人気ワイド番組『Skyrocket Company』の放送時間が1時間拡大し、17時から3時間の生放送となりました。内容もリニューアルし、18時台にはターゲットリスナーである M1F1 層が関心を寄せるニュースを深掘り

する「スカロケニュース調査部」、19時台には“働き方改革時代”に残業しながら聴いているリスナーのコミュニティ化を狙った「スカロケ残業応援部」など新コーナーも創設し、パワーアップを行いました。番組放送開始6年目を迎え、働くリスナーの生活に寄り添った内容をお届けします。パーソナリティは、マンボウやしる（本部長）、浜崎美保（秘書）。

◆ 『杉咲花の Flower TOKYO』 (日曜 9:00-9:30)



◇放送時間 : 日曜日 9:00-9:30 (東京ローカル)

◇出演者 : 杉咲花

10月5日(金)に公開の映画『パーフェクトワールド 君といる奇跡』で主演をつとめるなど、今、日本で最も勢いがある女優のひとり、杉咲花による初の冠レギュラーラジオ番組がスタートします。「ラジオ番組を持つことが夢だった」というほどラジオ愛にあふれる杉咲花が、念願のラジオパーソナリティデビューを果たします。映画・ドラマでの演技とは一味違う“素颜”のトークと、自ら選曲を担当したり、リスナーからのお悩み相談に挑戦したりと、ラジオならではの企画にも挑戦していきます。

◆ 『GINZA 4 STUDIO STAR SPECIAL』 (JFN38局時間違い)



◇放送時間 : 土曜日 12:30-12:55

◇出演者 : 立花裕人、宝塚歌劇団OG

西洋文化の発信源であり、日本伝統芸能も息づく街、銀座4丁目に新たに誕生した「nu dish Deli & Cafe」。その店内に併設された「GINZA 4 STUDIO」でのLIVEに出演する宝塚歌劇団OGと常連客・立花裕人のここだけの会話を毎週お届けする番組がスタートしました。新放送サービス i-dio のフラッグシップチャンネル「TS ONE」で8月から放送中のプログラムがTOKYO FM/JFN38局に登場となります。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○10月改編で『Skyrocket Company』が3時間拡大とのことだが、純粋な延長になるのか？

■これまで、『Skyrocket Company』は平日 17 時～19 時、19 時からは『TIMELINE』という番組を放送していたが、19 時から聴取率が下がってしまう傾向にあった。対する『Skyrocket Company』は同時間帯中で数字が良く、今回の時間拡大に繋がった。もちろんただ延長するだけではなく、19 時台は新しいコーナーなどを設け、番組ターゲットである働く 20 代、30 代の関心のあるニュースを扱っていく。また、ちょうどターゲット世代が残業している時間帯でもあるので、“残業リスナー”のコミュニティづくりも狙っている。

○これまで放送していた番組を延長するとダレてしまうなどの懸念もあるが、全体的な構成もリニューアルするのか？

■もともと、案件の多い番組で、2 時間の枠ではメールが紹介しきれなかったり、曲がかからずカットすることもあったので、拡大によって、そういった部分が解消されると考えている。

■他局の動向では、今春から AM 局が野球のナイター中継を辞めて、20 代 30 代をターゲットにしたワイド番組を編成し、若年層でナイターよりも数字を上げたという例もある。弊社の番組の中でポテンシャルの高い『Skyrocket Company』でテコ入れを行うという狙いもある。

○立花さんと出演者が宝塚歌劇団の OG ということだが、これは毎回同じ方がゲストか、それとも毎回変わるのか？また、番組概要に「ここだけの話」とあるが、これはどのような内容なのか？

■番組のテーマが「美と健康」となっており、OG の方々がどのような美容法をう行っているのか？どのように維持しているのかを紹介してもらうような構成となっている。

○立花裕人さんは堅い話も得意とする方なので、美と健康の切り口などを工夫して欲しい。

■もともと立花氏は宝塚にかなり造詣が深く、どこまで裏話的なものをしてい

<第 452 回放送番組審議会議事録>

いかは別として、キャスティングができるほどのパイプがある。そういう意味で期待している。

○宝塚歌劇団には強いファンがいるので、こういうマニアックな番組は期待ができると思う。

議題 2 : 番組試聴

【番組名】 『木村拓哉 Flow supported by GYAO!』

【放送日時】 2018年9月23日（日） 11:30～11:55 全国38局ネット

【番組概要】

本日も試聴いただくのは、9月23日（日）に放送した、『木村拓哉 Flow supported by GYAO!』のダイジェストです。

この番組は、木村拓哉氏が 22 年間続けてきたレギュラー番組『木村拓哉の What's UP SMAP』を7月で終了し、毎週日曜午前 11 時 30 分へと放送日時も変更し、装いも新たに 8 月からスタートしました。また、無料動画サービス GYAO!との連動により、動画配信も行っています。木村拓哉氏が人生初のゲスト対談をメイン企画に据え、木村氏と親交のある様々なゲストを迎え、お互いの内に秘めた魅力や意外性に迫る内容となっています。番組の初ゲストとして、8 月は明石家さんま氏を、9 月は映画『検察側の罪人』（全国東宝系公開中）で共演中、同じ事務所の後輩にあたる嵐の二宮和也氏をゲストに迎えました。ご視聴いただく 9 月 23 日の放送回では、木村氏・二宮氏の 2 人が、リスナーからのメールに答えながら、10 年後、そして将来像についてを語りました。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○まだ木村拓哉氏が 20 代の時、『What's UP SMAP』を良く聴いていたが、45 歳にもなると、口調も声も落ち着いてより聴きやすくなったと思う。ところどころ聴いてて気になったのは、特に笑いどころではない普通の話で笑い過ぎているように感じた。笑っているというよりは合いの手なのかもしれないが。ゲストによっては少しやかましく聴こえてしまうかもしれない。真面目さと軽さのバランスが大切かと思うが、軽さというのは合いの手の笑いではないはず。

○リスナーの質問から派生したトークなど、大変面白く聴いた。(木村拓哉氏が) 45 歳と (二宮和也氏が) 35 歳とはいえ、良く喋ったなと感心した。居酒屋トークの様なトーンもあって聴く側も面白かったのではないかと思う。

○人生の 1 曲をゲストに訊くのは毎行っているコーナーか。

■月替わりのゲストの最終週に必ず聴いている。

○ゲストが人生の 1 曲を選び、その理由を語るというのはとても良かった。とりわけ今回は、二宮和也氏がこの曲を選ぶのかという驚きがあった。きっと今後も大物ゲストが続くだろうから、ゲストたちの人生の 1 曲をまとめた CD を出したらヒットしそうだ。これから先も楽しみな番組。

○「笑い」を会話の間を埋めるように入れる人、特に 30 代前後の人に多いと感じる。それはなぜ必要なのか観察していたが、おそらく共感を求めているのかと思う。私は違和感を感じなかったが、世代によっても違うのだろう。

○BGM がなく、トークだけだったのはいいなと思った。二人の声だけがそこにあって、というのは久しぶりに聴いた気がするので最近では珍しいのでは。

○二人とも、もう長いことバラエティ番組で拝見するが、トークに予定調和な感じがせず、興味深く聴けた。なぜ今、ここにいるのか。10 年後はどうなっているのか。というシンプルなテーマがとても良かった。辞める理由がなかったというのは、特に印象的だった。台本には書き込んでいない真実を感じた。10 年後、「まる」に近づいていくという回答や同じデニムを履きたいという回答は、ユニークだった。

○二宮氏の人生の 1 曲は感心した。人生の 1 曲というのはテレビの番組でも見かける企画だが、一歩間違うととても陳腐になってしまう。

○私は、もともと SMAP が好きだった。解散をしたことによって、少し気持ちが離れてしまっていた。TOKYO FM も女性リスナーを多く抱えていると思うが、女性というのはそういう生き物。特に、木村拓哉氏は大変な人気のある人物。努力家の部分を私も応援してきた。しかし、作られたアイドルという部分が好きだったのかもしれない。

○今回のトークは、長年のファンからすると、少し物足りなかった。ディレクターとのトークの方が裏側が見えて面白かったかもしれない。

■人生の 1 曲は、確かにベタな企画ではある。しかし、今後予定しているゲストもかなり大物が多いので、聴きどころにはなっている。

■BGM についてだが、木村氏の声が低音でとてもいい声をしているので、あえてひかない構成にしている。今後も、ゲストの話はもちろん、ゲストとのトークを通じて木村氏自身も引き出していければと思う。

■強い SMAP ファンじゃなくても、キムタクはほとんどの人が知っている。これまでの夜の深い時間より、時間移動により数字が伸びた。今後も期待したい。

6.議事内容を以下の方法で公表した。

① 放送:番組「JOGLIS」

10月27日(土)7:00~7:20 放送

② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp/>

7.その他

次回の放送番組審議会を、11月13日(火)に開催することを決めた。